

面接に付けていくネクタイ

1. 参加者とお題

最初は、SD 法+因子分析から得た因子得点マップとサーストンラインキングの結果をみて、ネクタイ+シャツについての人の持つイメージをディスカッション。

参加者：30代男性 大学教員 3名

お題「面接につけていくネクタイ」

2. 質問内容(前半 30 分)

質問①

こういったところをポイントにしてネクタイを選んでいるのか？

回答数 2 人

質問②

ネクタイをする・しないの場はどんな場所？どんな条件？

回答数 2 人

質問③

面接の服装として... 大切にしたいイメージは？

回答数 2 人

代表的な解答：清潔感(まじめな感じ)・好感度(明るい感じ)

質問④

清潔感(まじめな感じ)・好感度(明るい感じ)のそれぞれのイメージを表現する色・デザインは？...

回答数 2 人

質問⑤

面接官として・・・面接者に表現してほしいこと

面接者として・・・面接官に表現したいこと

回答数 2 人

3. 中間発表(ディスカッション・フリートーク)

面接者の立場なら無難・ノーマルにしたいくなる...

面接官の立場ならチャレンジング・アピール力を観たくなる。

面接の時のネクタイの色・デザインについて・・・客観的に考えると...

◎自分が面接感しては、明るくても良いけど...

◎なぜかリクルートスーツには無難に寒色系でまとめてしまう...

◎暖色系でも与える印象は悪くない...

◎暖色系の方が明るいイメージなのに・・・なぜ？

◎日本人特有のなのかな？

質疑：年齢との関係はあるのでしょうか？

4. 質問内容(後半 30 分)

質問⑥

面接官と面接者の両方の側から考えて、年齢・・・10代、20代、30代それぞれで表現してほしい・したい事とそのイメージの色・デザイン

回答数 3 人

質問⑦

30代は個性的になる・・・では、

30代で最も表現したい・してほしい個性を色と言葉

で表現してください.

回答数 2 つ/人(表現したい&してほしい)

代表的な解答：情熱，熱意・赤色

5. 最終発表(ディスカッション・フリートーク)

基本的場所は，フォーマルな場から自己主張の場に変化する．それに応じて，スーツもユニフォームから自分を主張するアイテムとなる．面接の場もフォーマルな場から自己主張の場(目立つ)へ変化する．それに応じて主張ポイントが変わる・・・

結論(?) 社会にでると情熱は失われている．それを表現し，求めるようにネクタイの選び方も代わってくるようだ．